

それゆけ！ としかんだより



2007年6月

第3号

発行所
高野山大学図書館
閲覧室

4月から、はや3ヶ月が過ぎました。図書館のことはどれだけ知ってるかなあ??
ではここで、(高野山大学) 図書館テストをしてみましょう♪

- 一問目 本が好き
- 二問目 パソコンで検索したことがある
- 三問目 マイライブラリのパスワードをもっている
- 四問目 マイライブラリのブックマークを使っている
- 五問目 本大学の先生の名前を全員言える
- 六問目 全国書店売上の最新ベスト20を知っている
- 七問目 最近の作家の名前を言える
- 八問目 DVD やビデオを借りたことがある
- 九問目 シブりがDVDで所蔵していることを知っている
- 十問目 「それゆけ！図書館だより」を創刊号から読んでいる

※1問当てはまるごとに10点です。

さて、何点になったかなあ?
では、結果発表♪♪

100点

90～70点

60～40点

30～20点

10～0点

もう何も言うことはありません。
図書館を思う存分使いこなしてください！

たいへんよくできました

図書館を便利に！
マイライブラリを使ってみましょう。

よくできました

図書館には、先生が書いた出版物もおいで
あります。ぜひ、読んでみましょう。

努力賞

図書館では、書店などのベスト20を置いて
います。のぞいてみてくださいね。

あと一歩

図書館には、映画の名作も豊富にそろって
います。まずここから入ってみては…

がんばりましょう



図書館の便利な機能

マイライブラリ！

マイライブラリでは、
読みたい図書などをブック
マークして、残せます。
他にもいろんな機能が…

詳しくは閲覧室
カウンターまで！

※利用するには図書館閲覧
室で発行されるパスワード
が必要です。

書庫の耐震工事準備のため6月21
日より、毎週木曜日閉館いたしま
す。ご迷惑おかけいたします。

2007年6月の開館予定表

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

2007年7月の開館予定表

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

閉館
9:00-19:00
9:00-17:00
13:00-19:00
9:30-12:00 / 13:10-17:00



今月のおすすめ図書！

※このコーナーは、いろいろな人からおすすめの本を紹介してもらうコーナーです。今月は室寺義仁先生のおすすめです。



服部正明著『古代インドの神秘思想』（講談社学術文庫 2005 年 10 月、再刊）

請求番号：520/コ/8 資料ID：000119340

※初版は、講談社現代新書、1979 年

この著作（初版本）を私が手にしたのは、本学の仏教学科に在籍する学生時代でした。私という自己存在を始めとする個体の本質をアートマンと捉え、そのアートマンと唯一絶対なる最高実在たるブラフマンとの究極的な合一性（所謂「梵我一如」）を解き明かす初期ウパニシャッドの神秘哲学を、原文からの正確な現代日本語訳で初めて知り得たのでした。当時サンスクリットの初歩を学修し終えた頃の私でしたが、ウパニシャッドの哲学を原文に照らして読めることに興奮と感動を覚えたものでした。

ブッダを生み育てた古代インドの文化や思想を知ることが大切です。例えば、ブッダに先行するウパニシャッドの哲人ヤージニャヴァルキヤは、人の臨終について次の様に語ったと言います。「・・・このアートマンは、眼から、あるいは頭から、あるいは身体の他の部分から出て行くのであります。それが上へ出て行くとき、氣息はそのあとにしたがって上に出て行きます。上に出て行く氣息のあとに続いて、すべての機能も上へ出て行きます。・・・〔人がこの世で習得した〕知識と〔なした〕行為〔の余力〕、ならびに記憶は、それ（アートマン）に背後からつかまっているのです」と（紹介図書 219 頁参照）。ここに表現される知識や行為、記憶の問題は、後の仏教では「般若」や「業」、あるいは「アーラヤ識」を巡る問題構想へと展開して行きます。

紹介図書は、原文読解への誘いの書でもあります。

（部屋の閉室と変更のご案内）

11 号室（休憩室）と 12 号室（グループ学習室）を閉室し、13 号室（旧 視聴覚資料閲覧室）をグループ学習室にいたしました。

どうぞ、ご利用ください。

今月の・・・ぴか！



“七夕”は、 どうして“タナバタ”って読むの？



七夕は、中国から伝来し広まった「牽牛星」「織女星」の伝説と、技芸の上達を祈る中国の習俗「乞巧奠（きこうでん）」が結びついた日本特有の行事です。

五節句の一つとして宮中ではもともと「しちせき」と呼ばれていましたが、「しちせき」が民間に広まると棚機津女（たなばたつめ）の伝説と結びつき、「たなばた」と呼ばれるようになりました。棚機津女とは日本の古い信仰で、村の災厄を除いてもらうため水辺で神の衣を織る巫女の伝説です。

「たなばた」の語源は、この巫女にちなむとされています。

旧暦の七月七日をお盆の初めとして、墓掃除や盆参り、仏具を洗う地域もあって、「雨が三粒でも降ったほうがいい」「七回水を浴び、七回親を拝む」などという意外な言い伝えもあり、このことからもとは雨乞いの祭りだったという説もあります。

七夕って、雨乞いの祭りだったんですね…でも、織姫にはいつも笑っていてほしいですよ☆

※参考にした資料は、

大崎正次著『中国の星座の歴史』（雄山閣出版、1987 年）/ 今野圓輔著『季節のまつり』（河出書房新社、1976 年）
倉林正次編『日本まつりと年中行事事典』（桜楓社、1983 年）/ 西村亨編『折口信夫事典』（大修館書店、1988 年）
です。すべて本学図書館に所蔵しております。興味をお持ちの方は、どうぞご覧下さい。



（編集後記）お疲れ様です！図書館ですが、前回までのものと、少し感じが変わったと思います。次号からも、楽しみにしてくださいね！（玉）

発行所

〒648-0280 和歌山県伊都郡高野町高野山 385 高野山大学図書館 閲覧室

Tel: 0736-56-3835 / Fax: 0736-56-5590 /

E-mail: service-lib@koyasan-u.ac.jp